

# 阿賀浦コミ協だより

令和3年1月1日

広報第34号

阿賀浦コミュニティ協議会

## 新年 明けましておめでとうございます ～ 広い体育館 ロコモで脱コロナ～

副会長 城 向 政 秀



皆さん、新年おめでとうございます。日頃からコミ協活動に協力賜り、厚く御礼申し上げます。去年はコロナに明け暮れ、地球規模まで問題が拡大しました。

こうした中、生活環境も大きく変わり、当コミ協も行事予定が一変し、それらしい活動ができたのは、広報部と6月スタートの生活安全部のパトロール活動、並びに介護予防運動のロコモ体操だけでした。新型コロナ禍で異常猛暑の中、互いに気を遣い活動された関係者の方々、大変ご

苦労様でした。

ロコモについて目を向けますと、密室防止のため、空調の効いた狭い室内を避け、暑い中、冷房のない広い地域学園体育館で2m間隔を維持しマスクをして汗を拭き拭き休み休み行い、活動時間も短めのメニューで、これまで9回実施し平均33名/回（延べ429名・R2.11.17現在）が参加されました。

狭い集会所だけという他の地域では活動休止の情報もありましたが、当方も体育館がなかったらロコモは長期休業せざるをえなかった事を考えますと、活動拠点としては助かりました。ただ残念なのはコロナの影響で、濃厚接触運動・合唱・昼食会などが出来ず、専門講師共々行動内容が限られ、当初の年間計画は一部見直しとなりました。

新年度はコロナの終息を祈り、各種事業が復活して従来通りのコミ協活動の盛り上がりを期待しています。

皆様方のご健康とコミ協の更なる発展を祈念するとともに、事業推進にご協力をお願い致します。

### 目次

- 避難所運営体制 ..... 2面
- 阿賀浦コミ協賽ノ神 ..... 3、4面
- コミ協ひろば  
(東町町内会) ..... 5面



## 避難所運営体制連絡会開催 ～令和2年9月15日～

災害時に秋葉区の避難所を運営するにあたり、平素から行政と地域住民、施設管理者が一体となって円滑な避難所の運営が進められるようにと、体制連絡会が秋葉区役所で開かれました。

秋葉区には57の指定避難所と13の補助避難所があります。補助避難所は発災時すぐには開設せず、指定避難所の収容人数を超えた場合などに使われます。阿賀浦コミュニティ管内では阿賀小学校、新津第五中学校、新津工業高校、新津地域学園、新津地区勤労青少年ホーム、の5施設が指定避難所となります。

今回から、新たに順次導入される鍵ボックス整備事業について防災課より説明があり、その後、中越防災安全推進機構より災害の実情を踏まえながら、次の3点について説明がありました。

- ① 避難所運営について
- ② 避難所の新型コロナウイルス感染対策
- ③ 避難所における運営委員会について

説明の後、避難所ごとに日を改めて打ち合わせていくことになりました。避難所運営委員会の立ち上げについては、各避難所ごとに分かれて役割とメンバーの決定などを避難所検討シートに沿って決定していきます。





# 賽ノ神（サイノカミ）紹介

～ 阿賀浦コミュニティ協議会管内 ～

広報部 長谷川 文 伸

賽ノ神は小正月に行われる越後の冬の地域行事です。雪原の上に藁やカヤなどで賽ノ神を作り、それを燃やして豊作や無病息災などを祈るものです。門松やしめ縄なども一緒に燃やすことができます。

現在、阿賀浦コミュニティ管内の自治会では、大安寺、中新田そして新津東町で行われています。各地区で様々な楽しみ方で行われています。未永く後の世代にも繋いでいきたいものです。

なお、上記自治会において、令和3年1月に開催する予定だった「賽ノ神」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止の方向となりました。早くこの感染症が終息されるのを願うばかりです。「賽ノ神」は地域の方々の御参加と御協力のもとに成り立っております。以下に3つの自治会の賽ノ神をご紹介します。

## (1) 大安寺

大安寺では、例年PTA主催で新年会や餅つき大会と併せて賽ノ神を実施しています。その準備は9月の稲刈り時から始まります。事前に藁の確保、束ね、トバ編み（藁を縄で編むこと）を行っておき、竹の棒などを骨組みにして、組み上げていきます。当日は餅つき大会後、子どもたちが神社から御明かしを運んできて点火します。燃え残った竹の残骸を魔除けとして門前に建てる方もあります。



大安寺の賽ノ神

## (2) 中新田

中新田では、毎年農家の方から分けて頂いた稲藁を中新田清老会から集めて頂き、12月上旬に中新田児童生徒育成会でトバ編み作業を行います。

当日は、早朝より骨組みとなる竹を地域の方から頂いて、藁、豆ガラで「賽ノ神」を組み立てていきます。組立ては、育成会が主に行っていますが、地域の方のご協力も得ながらみんなで完成させます。点火の作業は、その年の年男、年女（小学生）にお願いしています。また、防火警備等は中新田消防団にご協力頂いております。



中新田の賽ノ神（R2.1.12開催の様子）

## (3) 新津東町

新津東町では、10年ほど前に青年部が発案し、新年の事業として能代川の河川敷にて始めました。神主の祝詞、厄年の方の榊奉納後に点火します。町内の多くの方々が参加されます。おでんや甘酒なども販売すると共に、竹に吊るしたするめ焼きや景品つき抽選くじ引きなどでも楽しめます。（東町のコミ協ひろばもご覧ください。）



新津東町の賽ノ神





## 東町交流事業のご紹介

東町町内会長 湯田 幸 栄

### ■ 夏祭り

昭和45年開町時は約70世帯でしたが現在は580世帯程になりました。

世帯増加は児童・生徒の増加につながり、当時の地域PTAスタッフが保護者間の交流（子供たちの夏の思い出づくりの場として実施した、食べ物・飲み物持参「バーベキュー」）の場で、町民の交流と子供たちの思い出づくりとして「夏祭り」があったら良いよねとの声から始まりました。

神社のない町でしたので、「なかよし公園」を会場に「ふるさとづくり事業」として実施しました。

その後、町内会事業に位置付け、現在、会場が雨でも開催できるように、新津地域学園から「勤労青少年ホーム体育館」に移し開催しています。『祭り実行委員会』（構成：町内会・東栄会・東町サロン・公園愛護団体・青年部・女性部・地域PTA等町内各種団体）の運営は、青年部・女性部・地域PTAの皆さんからリーダーになって貰っています。昼からの「こども樽神輿の巡行」、夕方からの「夏祭り」が概要で、半日間ですが皆さん楽しんで頂いています。

### ■ さいの神

青年部発案により10年ほど前から能代川河川敷で成人式の前後に、新年（迎春）事業として開催。神主の祝詞、厄年の方からの榊奉納後点火。神主に併せ一同、希望・お願い・感謝する姿があります。また、おでん、甘酒などを販売したり、竹に吊したするめを焼いたりし、最後に景品つき抽選くじ引きを開催し、寒い時期ですが、お陰様で多くの皆さん方から楽しんで頂いています。



## 編集後記


各自治会の活動状況や地域の特色、文化、伝統、自治会自慢、各種団体活動、個人の特技、ちょっとした話題などを紹介する「コミ協ひろば」。前回掲載予定でした東町自治会にご協力頂き、今回の掲載と致しました。ありがとうございました。

また、本年、実施できなかった各町内の賽ノ神の今までの様子を掲載しましたので、ご覧ください。新型コロナウイルスが早期に終息することを願います。

## お知らせ

今までのコミ協だよりは、阿賀浦コミ協ホームページより閲覧できます。

<https://agauracomikyo.wixsite.com/mysite>

QRコードはこちらから 

広報部一同

